

共同研究奨励助成グループ

「日中関係史の断絶と連続の研究

—— 中国人留学生研究の情報発信源を中心に」

昨年（2013年度）の活動報告で、留学史に関しては触れていなかったのですが、ここにお詫びして、今年度と合わせて報告する（研究会の頭につけた「第〇回」は、従来からの通し番号である）。

第35回 2013年6月22日 於北京大学

シンポジウム「近代以来中日留学生」学術研討会（北京大学歴史学系・神奈川大学中国人留学生史研究会共催）

- ・大里浩秋（神奈川大学）「日華学報と中日関係」
 - ・王晓秋（北京大学）「留学生と近代中日文化交流」
 - ・王新生（北京大学）「留日学生と早期中国共産党」
 - ・孫安石（神奈川大学）「日本人的中国留学——有関北京大興学会」
 - ・周一川（日本大学）「中国女子留学生研究動向報告」
 - ・徐志民（中国社会科学院）「近代日本対華留日学生政策研究」
 - ・王雪萍（東京大学）「戦後日本の中国人留学生と救済金問題」
 - ・楊紅軍（北京大学大学院博士課程）「80年代以来日本留学生政策研究綜述」
 - ・見城悌治（千葉大学）「中国人医学留学生と近代日本」
 - ・譚皓（北京大学大学院博士課程）「近代日本留華学生研究」
 - ・田遠（神奈川大学大学院）「戦後日本と中国留学生学報的問題」
 - ・劉千里（北京大学大学院博士課程）「留日学生と中国共産党研究綜述」
- 通訳：胡穎（神奈川大学大学院）、羅敏（北京大学大学院）

第36回 中国人留学生史研究会例会

日時：2013年7月6日（土） 午後4時～7時

場所：神奈川大学横浜キャンパス 17号館 216室

- 報告：(1)「中国人留学生の予備教育と対支文化事業」 韓立冬（東京大学大学院）
(2)「大正時代の台湾人の日本留学と早大清国留学生部（1905～10）の資料紹介」
紀旭峯（早大アジア研究機構次席研究員）
(3) 北京会議の報告

第37回 中国人留学生史研究会 10月例会

日時：2013年10月12日（土） 午後4時～7時

場所：神奈川大学横浜キャンパス 17号館 216室

- 報告：(1)「『官報』と清末留学生の経費問題——直隸省を事例に」（胡穎，神奈川大学大学院博士課程）
(2)「東京留学時代の郭沫若——『五校特約』下の中国人留学生生活——」（劉建雲，日本大学非常勤講師）

第38回 2013年12月の例会

日時：12月13日午後3時～6時

場所：東京大学駒場キャンパス18号館4階コラボルーム2

- ◆書評 (1) 孫安石 (神奈川大学) 「呂順長『清末駐日教育文化交流之研究』」
(2) 川尻文彦 (愛知県立大学) 周綿『中国留学生論』
(3) 見城悌治 (千葉大学) 「紀旭峰『大正期台湾人の「日本留学」研究』」
(4) 王雪萍 (東京大学) 「徐一平他『中日教育合作実践与成效研究——以「大平班」和北京日本学研究中心办例』」
- ◆報告 尾高暁子 (東京藝術大学) 「東京音楽学校と中国人留学生」
- ◆2015年刊行予定の論文集について。

第39回 シンポジウム「中国人留学生と近代日本」

神奈川大学留学生史研究会・科研基盤研究(C)「明治日本の軍隊と近代中国のナショナリズムの形成」
(課題番号23520871, 代表李暁東)共催

日時：2014年1月11日(土曜日)

場所：神奈川大学横浜キャンパス1号館804室

「光と影——中日留学生と近代外交」(胡連成, 華僑大学)

「中国人留学生と日本」(大里浩秋, 神奈川大学)

「留日学生派遣のススメ——張之洞の面会者たち」(川崎真美, 中国研究所)

「清末留学生の経費問題——『官報』を素材に」(胡穎, 神奈川大学大学院博士課程)

「青柳篤恒——ある埋没された袁世凱の高級スパイ」(尚小明, 北京大学)

「中国人留日学生と軍国民思想」(李暁東, 島根県立大学)

「近代日本の工芸教育と中国留学生」(見城悌治, 千葉大学)

コメンテーター：孫安石 (神奈川大学), 周一川 (日本大学), 王雪萍 (東京大学)

第40回 2014年4月例会

日時：4月12日(土)午後3時～6時

場所：神奈川大学横浜キャンパス17号館216室

- 報告：(1)「戴季陶の日本留学について」(張玉萍, 東京大学教養学部講師)
(2)「1942年における新民会留日学生と内原訓練所」(池田健雄, 千葉大学博士2年)

第41回 2014年7月例会

日時：7月5日(土)午後3時～6時

場所：神奈川大学・横浜キャンパス20号館212室

- 報告：(1)「内蒙古の留学生と日本」(田中剛, 神戸大学講師)
(2)「秋瑾の日本留学——東京実践女学校との関連について」(易恵莉, 華東師範大学教授)

第42回 2014年9月例会——箱根合宿

日時：9月26日(金)～27日(土)

場所：神奈川大学・箱根保養所

報告：論文集出版のための予備報告

- (1) 大里浩秋「東亜同文会機関誌中の留学関係記事」

- (2) 孫安石「中華民国留日学生監督処初探——1911～1937年」
- (3) 見城悌治（千葉大学）「中国人留学生の工芸・デザイン修学について」
- (4) 周一川（日本大学）「近代中国人留学生統計史料に関する考察——1920～1940年代を中心に」
- (5) 中村みどり（早稲田大学）「陶晶孫と佐藤みさと陶烈のこと」
- (6) 尾高暁子（東京芸大）「中国人留学生と音楽教育——東京音楽学校を中心に」
- (7) 王雪萍（東洋大学）「戦後期日本における中国人留学生・華僑団体の統合と再分裂——留日同学総会、留日華僑総会を中心に」
- (8) 胡穎（神奈川大学大学院）「『官報』と留学生の財政状況——官費生、公費生を中心に」
- (9) 巖平（中国・人民大学）「戦前期の帝国大学の中国人留学生について」
- (10) 劉建雲（日本大学非常勤講師）「郭沫若三兄弟の日本留学」
- (11) 田中剛（神戸大学講師）「戦後直後の東北・北海道の中国人留学生について」

なお、10月25日日本で開かれた第64回日本現代中国学会全国学術大会において、日頃留学史研究会に参加している孫安石・見城悌治・胡穎3名が分科会「中国人留学生の管理と支援」で報告した。

現在、上記研究会で報告した内容を中心に、共同研究の成果を人文研叢書の一冊として公刊すべく準備中である。

（文責 大里浩秋）